

第8回 市長フォーラム

これからの基礎自治体のありかた

～地方分権時代における都市自治体の役割～

趣旨・目的

平成19年に設置された地方分権改革推進委員会および第29次地方制度調査会の審議においては、いずれも今後の基礎自治体のあり方が問われている。具体的には、平成の大合併が進展する中での基礎自治体の現状と課題、事務移譲を含む地方分権のあり方、基礎自治体が果たすべき業務を確実に実施できる体制のあり方、住民自治の充実策などである。

そこで、今回のフォーラムでは、これらの点から都市自治体の役割について考え、今後における都市自治体としての対応に結びつけていきたい。

主 催	全国市長会 財団法人日本都市センター
開催日時	平成20年11月12日(水) 15:00～17:00
開催場所	全国都市会館2階 大ホール 東京都千代田区平河町 2-4-2
テ ー マ	「これからの基礎自治体のありかた～地方分権時代における都市自治体の役割～」

進 行

15:00	開 会
15:05	パネルディスカッション 「これからの基礎自治体のありかた」 ① 基礎自治体の現状と課題 ② 地方分権について ③ 基礎自治体が果たすべき業務を確実に実施できる体制は ④ 住民自治の充実のために フロアからの意見、質疑応答等
17:00	閉 会

☆ 放映予定 本フォーラムの様相については、(財)自治体衛星通信機構の地域衛星通信ネットワークにより、11月21日13時並びに11月28日13時から放映されます。

・全国市長会 企画調整室
〒102-8635 東京都千代田区平河町 2-4-2 03-3262-2312
・財団法人日本都市センター 研究室
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 03-5216-8771

パネルディスカッション（15:00～17:00）

コーディネーター

中西 晴史（なかにし はるふみ）



日本経済新聞社地方部編集委員

1972年京都大学経済学部卒業後、日本経済新聞社に入社。大阪本社編集局経済部、東京本社政治部次長、広島支局長などを経て、2007年より東京本社地方部編集委員に就任。また、1999年より2年間、論説委員を兼務。地方自治、地方分権などを担当し、2002年よりコミュニティ政策学会理事に、また2008年より都市分権政策センター・道州制と都市自治体に関する検討会委員に就任し、現在に至る。共著に『この国のかたちが変わる-平成の市町村大合併』、『平成デモクラシー-地方が攻める分権改革』、『「三位一体」改革とマニフェストが日本を変える』などがある。

パネリスト

木村 陽子（きむら ようこ）



総務省地方財政審議会委員

1977年奈良女子大学卒業後、大阪大学大学院経済学研究科公共経済学専攻博士課程修了。その後、奈良女子大学教授、放送大学客員教授に就任。現在、総務省地方財政審議会委員を務める。財務省財政制度等審議会臨時委員、内閣府男女共同参画会議影響調査専門調査会委員等を歴任し、国の地方行政に関わっている。著書に『家族・世帯の変容と生活保障機能(社会保障研究シリーズ)』、『年金・医療保険論』、『自分を守るための年金知識』などがある。

佐竹 敬久（さたけ のりひさ）



秋田市長

・全国市長会会長

東北大学工学部卒業後、1972年秋田県庁へ入庁。工業振興課長、地方課長、総務部次長などを歴任し、1997年県庁を退職。2001年より秋田市長に就任。現在2期目。2001年秋田県市長会会長に就任後、全国市長会副会長、全国市長会相談役、全国市長会財政委員会委員長、政府税制調査会委員を歴任。2007年6月より全国市長会会長に就任し、現在に至る。

名和田 是彦（なわた よしひこ）



法政大学法学部教授

・第29次地方制度調査会委員

1978年東京大学法学部卒業後、1983年同大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。横浜市立大、東京都立大を経て2005年4月から法政大学法学部教授。専攻は法社会学、コミュニティ論。1993年から95年、ドイツ・ブレーメン市で住民参加に関する実態を研究。その後もドイツを訪れ、住民参加と都市内分権について調査している。2007年より第29次地方制度調査会委員に、また2008年より総務省新しいコミュニティのあり方に関する研究会座長に就任し、現在に至る。主な著書に『コミュニティの法理論』などがある。

横尾 俊彦（よこお としひこ）



多久市長

・内閣府地方分権改革推進委員会委員

慶應義塾大学法学部卒業後、松下政経塾(第1期生)入塾、同塾の指導塾員、広報担当を歴任。1997年より多久市長に就任。現在3期目。佐賀県市長会会長、全国青年市長会会長、九州市長会副会長、全国市長会副会長を務め、2007年6月より内閣府地方分権改革推進委員会委員に就任し、現在に至る。小さくともキラリとひかるまちづくり「住みたい美しいまち多久」の創造を目指している。共著に『国の常識は地域の非常識』、『地域から日本を変える』などがある。

横道 清孝（よこみち きよたか）



政策研究大学院大学教授・地域政策プログラムディレクター

1975年東京大学法学部卒業後、同年自治省入省。1980年和歌山県地方課長、1983年国土庁地方都市整備課課長補佐、1984年自治省政治資金課課長補佐を経て、1988年埼玉大学大学院政策科学研究科助教授、1997年政策研究大学院大学助教授、2000年同大学教授。2005年より総務省市町村の合併に関する研究会座長代理。また2007年より総務省過疎問題懇談会委員に就任し、現在に至る。専攻は、地方自治論。主な著書に『地方制度改革』などがある。